

精神神経学雑誌第 124 巻総目次

第 124 巻 第 1 号 2022 年 1 月

巻 頭 言	日本精神神経学会と私	早苗 麻子	1
原 著	NDB オープンデータに基づくクロザピン使用実態 ——NDB オープンデータでみた日本のクロザピン処方——	樋口 早子, 酒匂 赤人, 近藤 忠之, 草西 俊, 榎本 哲郎, 早川 達郎, 柳内 秀勝, 吉村 健佑	3
資 料	オンライン診療の適正な普及に関するヒアリング調査——現状把握と課題分析——	木下 翔太郎, 成瀬 浩史, 吉村 健佑, 岸本 泰士郎, 榎戸 美佐子, 押淵 英弘, 兼子 幸一, 瀬戸 秀文, 辻本 哲士, 長尾 喜一郎, 三野 進, 村田 昌彦, 米田 博, 稲垣 中	16
特 集	育てと育ちの精神医学——困難な育児・逆境における育ちの支えⅡ—— 児童精神科臨床における養育支援——総合母子保健センター愛育クリニックでの取り組み——	細金 奈奈, 小平 雅基, 齊藤 万比古	28
	東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断的支援研究 ——ベースライン調査, 第 1 回・第 2 回追跡調査の結果から——	八木 淳子, 榎屋 二郎, 福地 成, 吉岡 靖史, 松浦 直己	36
	医療・保健・福祉が連携した周産期のメンタルヘルスケア ——地域の実態調査・介入研究・均てん化を通してみてきた課題と今後の展望——	立花 良之, 小泉 典章	47
精神医学奨励賞 受賞講演	てんかんにおける脳画像年齢測定と画像バイオマーカー探索	曾根 大地	55
連 載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達」の疾患」分類と病名の解説シリーズ パラフィリア症群・作為症群	太田 敏男	62
PCN だより	PCN Volume 75, Issue 8 の紹介		67
書 評			70
学会活動報告	学会活動日誌 (2021 年 11 月)		71
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト, 編集委員会より		74

第 124 巻 第 2 号 2022 年 2 月

巻 頭 言	第 118 回日本精神神経学会学術総会へのご招待	川崎 弘昭	77
精神医学の フロンティア	全脳線維追跡法を用いた年齢に関連した白質構造変化の双極性障害, うつ病, 健常対照群間での比較	増田 慶一, 岡田 剛, 高村 真広, 柴崎 千代, 吉野 敦雄, 横山 仁史, 市川 奈穂, 奥畑 志帆, 小林 哲生, 山脇 成人, 岡本 泰昌	79
原 著	統合失調症患者の麻痺性イレウスと向精神薬・下剤の関係	稲熊 徳也, 灘谷 聡昭, 池本 正平, 井藤 佳恵	84
	日本独自の伝統的な「うつ病」概念のこれまでとこれから ——軽症内因性うつ病からうつ病 (DSM-5) へ——	大前 晋	91
特 集	精神科臨床におけるオンライン診療——保険診療 3 年目の現状と課題—— 精神科オンライン診療からみえる臨床風景	小椋 哲	109
	——「影」からの報告と未来への展望—— 遠隔診療, そしてオンライン診療の展望	長尾 喜一郎	116

	オンライン診療, 中央評価, 遠隔モニタリング	126
	——種々の遠隔医療の今後の展開——	岸本 泰士郎, 木下 翔太郎
連 載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達疾患」分類と病名の解説シリーズ	
	ICD-11 で新設された「性の健康に関連する状態群」	134
	——性機能不全・性疼痛における「非器質性・器質性」二元論の克服と	
	多様な性の社会的包摂にむけて——	松永 千秋
PCN だより	PCN Volume 75, Issue 9 の紹介	144
書 評		147
学会活動報告	学会活動日誌 (2021 年 12 月)	148
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト	152

第 124 巻 第 3 号 2022 年 3 月

巻 頭 言	新英文機関誌 Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports の創刊	鈴木 道雄	155
原 著	本邦のプロフェッショナル演奏家における Musician's Dystonia 発症前後の		157
	ストレスに関する実態調査	野網 恵, 坂本 崇, 高橋 祐二	
特 集	自然災害への備えと対応——BCP と受援・支援——		
	平成 30 年 7 月豪雨災害における広島県保健師チーム統括班の活動から		168
	——多職種連携と受援について——	服多 美佐子, 山下 十喜, 東久保 ちあき	
	局所・広域の自然災害に対する精神医療保健福祉支援体制の現状と展望	高橋 晶	176
	東日本大震災を経験した東北大学病院の事業継続計画 (BCP) 策定ステップと		184
	事業継続管理 (BCM)	佐々木 宏之, 古川 宗, 阿部 喜子, 藤井 進, 布田 美貴子, 藤田 基生, 丸谷 浩明, 亀井 尚, 江川 新一	
連 載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達疾患」分類と病名の解説シリーズ		192
	睡眠・覚醒障害 (Sleep-wake Disorders)	本多 真	
地方会	東京精神医学会第 122 回学術集会		198
	第 128 回近畿精神神経学会		202
PCN だより	PCN Volume 75, Issue 10 の紹介		214
書 評			216
学会活動報告	学会活動日誌 (2022 年 1 月)		217
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト, 学会だより		220

第 124 巻 第 4 号 2022 年 4 月

巻 頭 言	今は偶然を必然に変えるための良い準備をする時期	高橋 英彦	223
症例報告	継続・維持電気けいれん療法を終結した 2 例の臨床経過の検討		225
		笹林 大樹, 古市 厚志, 樋口 悠子, 高橋 努, 鈴木 道雄	
	精神科救急医療施設への入院後, 治療抵抗性統合失調症の可能性を検討するなかで, 先天性心疾		233
	患の既往が手がかりとなり, 22q11.2 欠失症候群と診断された 1 例		
	——精神科救急単科病院, 臨床現場からの報告——	松山 光一, 金原 信久, 花岡 晋平	
特 集	金沢総会後 50 年——その後の学会の変革と将来への展望——		
	金沢総会当日のこと	山口 成良	239
	金沢総会後の学会の変革	小島 卓也	245
連 載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達疾患」分類と病名の解説シリーズ		
	パーソナリティ症および関連特性群		252
	——正常なパーソナリティ機能とパーソナリティ症, パーソナリティ特性——	加藤 敏	
	パーソナリティ症——なぜカテゴリー分類は消えたのか——	黒木 俊秀	261

	ICD-11における境界性パーソナリティ障害の扱い……………	松本 ちひろ	263
	われわれはICD-11によってパーソナリティ症治療を変えるべきか？……………	林 直樹	265
	精神鑑定はどう変わるか……………	村松 太郎	267
地方会	第68回山陰精神神経学会……………		269
PCN だより	PCN Volume 75, Issue 11 の紹介……………		273
書 評	……………		276
学会活動報告	学会活動日誌（2022年2月）……………		277
編集だより	編集後記、次号予告、書評献本リスト……………		281

第124巻 第5号 2022年5月

巻 頭 言	施行後17年を経た心神喪失者等医療観察法……………	田口 寿子	283
精神医学の フロンティア	認知行動療法は不安症患者のベンゾジアゼピン系薬剤の中止を補助するか？ ：システムティックレビューとメタ解析……………	竹島 正浩, 高江洲 義和	285
症例報告	甲状腺機能低下症によるPsychosis (Myxedema Psychosis) の臨床的特徴 ——症例報告と文献レビュー—— ……………山田 裕士, 藤原 雅樹, 宋 龍平, 枝廣 暁, 深尾 貴志, 酒本 真次, 高東 祥一朗, 川田 清宏, 和辻 健太, 山本 紘一郎, 大塚 文男, 山田 了士		293
資 料	自治体立精神科病院に入院した新型コロナウイルス感染症患者の特徴について ……………北村 立, 来住 由樹, 田中 究		300
特 集	子どもの自殺を防ぐために精神科医ができること 子どもの自殺の基礎知識……………太刀川 弘和		308
	子どもの自殺防止——自殺企図による救急受診後のケース・マネジメント介入について—— ……………立花 良之, 辻 聡, 岩田 遼, 河西 千秋		315
	学校コミュニティにおける自殺対策……………二宮 貴至		323
	児童と青年の自殺再企図防止——危険因子と保護因子に鑑みて——……………三上 克央		330
精神医学奨励賞 受賞講演	精神疾患の脳白質微小構造変化および統合失調症における脳予測性の障害についての研究 ……………越山 太輔		340
連 載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達疾患」分類と病名の解説シリーズ 2010年分類に基づいたICD-11のてんかん分類——1989年, 2017年分類との比較—— ……………兼本 浩祐		349
会員の声	精神保健指定医大量指定取り消し処分の不当性と闘って……………高橋 恵		357
地方会報告	第139回北海道精神神経学会……………		359
PCN だより	PCN Volume 75, Issue 12 の紹介……………		362
書 評	……………		365
学会活動報告	学会活動日誌（2022年3月）……………		366
編集だより	編集後記、次号予告、書評献本リスト……………		369

第124巻 第6号 2022年6月

巻 頭 言	精神療法委員会の活動について……………	中尾 智博	371
症例報告	行動異常型前頭側頭型認知症によるDiogenes症候群の1例 ……………大西 陽之, 埜卒 大喜, 森 康治, 繁信 和恵, 鐘本 英輝, 吉山 顕次, 岩瀬 真生, 橋本 衛, 池田 学		373
討 論	ヤスパースにおける「高次の了解」と治療的視点——内海論文「精神病理学の基本問題 ——ヤスパースの了解概念をめぐって——」に触発されて——……………加藤 敏		382
特 集	今日の精神医学の検証——バイオマーカーを持たない精神医学の望ましい航路とは——		

	精神疾患克服をめざして——これまでとこれから——	加藤 忠史	392
	純粹精神医学——伝統的精神医学への回帰——	古茶 大樹	397
	精神医療の守備範囲——精神医療の現場からみたこれからの精神医学——	宮岡 等	405
連 載	ICD-11「精神、行動、神経発達 of 疾患」分類と病名の解説シリーズ		
	不安又は恐怖関連症群	藤井 泰, 朝倉 聡	409
学術総会報告	第 117 回日本精神神経学会学術総会		416
	COVID-19 禍での現地開催	木下 利彦	
地方会報告	東京精神医学会第 123 回学術集会		418
PCN だより	PCN Volume 76, Issue 1 の紹介		426
書 評			430
学会活動報告	学会活動日誌 (2022 年 4 月)		431
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト		434

第 124 巻 第 7 号 2022 年 7 月

巻 頭 言	学会の委員会に所属するということ	中川 伸	437
症例報告	双極 I 型障害の重度うつ状態, ステージ IV の下咽頭癌, 挿管困難が併存し, 多科連携により修正型電気けいれん療法を実施し治療を進められた 1 例 ——患者の権利擁護と総合病院精神科の役割—— ……………佐々木 宏太, 榊原 英輔, 越膳 航平, 大路 友惇, 切原 賢治, 近藤 伸介, 笠原 諭, 高橋 渉, 安藤 瑞生, 笠井 清登 免疫療法が著効し, 髄液中の抗グルタミン酸受容体抗体が陽性であった 小児自己免疫性溶連菌感染関連性精神神経障害が疑われた 1 例 ……………青井 駿, 梅原 英裕, 郷司 彩, 森 達夫, 東田 好広, 高橋 幸利, 大森 哲郎		439
特 集	倫理指針改正による多施設研究と試料・情報利用研究へのインパクト 人を対象とする生命科学および医学系研究に関する倫理指針のもとでの 精神医学研究の課題とその対応……………飯島 祥彦 国立精神・神経医療研究センターにおける「生命科学・医学系指針」への対応 ——精神疾患レジストリの事例を中心に——……………小居 秀紀 精神科領域における多施設共同研究の実際と研究倫理……………橋本 亮太 「医学研究」について, 当事者・家族が感じている不安と期待…………… ——『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』施行に関して—— ……………夏莉 郁子 倫理指針改正に際し, 研究倫理の基本と人材育成を再考する……………尾崎 紀夫		457
連 載	ICD-11「精神、行動、神経発達 of 疾患」分類と病名の解説シリーズ		
	ICD-11 における症状性を含む器質性精神障害	西村 勝治	496
地方会報告	第 140 回北海道精神神経学会		501
PCN だより	PCN Volume 76, Issue 2 の紹介		505
書 評			507
学会活動報告	学会活動日誌 (2022 年 5 月)		508
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト		511

第 124 巻 第 8 号 2022 年 8 月

巻 頭 言	症例報告の意義について, そして架空症例について	村井 俊哉	513
-------	--------------------------	-------	-----

原 著	物質使用障害患者における初診3年後の断酒断薬予後 ——アルコール、違法薬物、処方薬市販薬の乱用物質別による断酒断薬継続期間への 影響因の検討—— ……………板橋 登子, 小林 桜児, 黒澤 文貴, 西村 康平	515
症例報告	面談を契機に氷解した特殊な死生観を有する解離性障害の1例 ——解離性障害ならびに自閉スペクトラム症への多職種連携による 心理的介入の重要性について—— ……………山本 健介, 藤本 健士郎, 辻 明里, 久保 洋一郎, 木下 真也, 金沢 徹文	533
特 集	精神医学と漢方医学のクロストーク ——古典から繙く知恵, 現代における漢方の役割, 未来に向けた課題と展望—— 現代精神医学の視点から見直す中神琴溪の漢方診療……………久永 明人 538 精神科臨床における漢方医学的アプローチの有用性……………井口 博登 546 精神科漢方 EBM Up Date——抑肝散のエビデンスの方法論を中心に——……………水上 勝義 555 精神医学における漢方医学——その展望と課題——……………山田 和男 560	
連 載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達疾患」分類と病名の解説シリーズ 自己臭関係付け症はなぜ ICD-11 に採用されたか……………松永 寿人 568 ——そのプロセスや臨床的意義を含めて——……………須藤 信行 570 ICD-11 における心身症の位置づけ……………須藤 信行 570	
地方会報告	第180回東海精神神経学会……………572	
PCN だより	PCN Volume 76, Issue 3 の紹介……………580	
書 評	……………583	
学会活動報告	学会活動日誌 (2022 年 6 月)……………584	
学会だより	関連学会案内……………587	
編集だより	編集後記, 次号予告, お詫びと訂正, 書評献本リスト……………588	

第124巻 第9号 2022年9月

巻 頭 言	日本精神神経学会と「共働 (協働)」……………渡辺 雅子 591	
精神医学の フロンティア	妊娠初期における血清インスリン様成長因子1値と 産後の抑うつ症状との関連……………足立 祥, 徳田 成美, 島 正之 593	
原 著	医療刑務所における神経性やせ症女性患者に関する研究 ——第一報: 特徴的な諸群への分類—— ……………瀧井 正人, 岸本 淳司, 遠山 岳詩, 海原 美香, 須藤 信行, 迎 伸彦 601	
特 集	当事者視点の精神医学・精神医療に向けて——パラダイムシフト調査班報告—— 当事者研究と研究の共同創造……………熊谷 晋一郎 623 当事者の経験知を専門知と対等に扱う……………630 ——精神科強制入院決定の患者の経験を知る協働質的研究を通じて考える——……………杉浦 寛奈 主観性のテクノロジーとしての精神医学——医療人類学的視点——……………北中 淳子 637	
連 載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達疾患」分類と病名の解説シリーズ ICD の統合失調症の診断が DSM と異なる背景……………杉原 玄一, 村井 俊哉 645 統合失調感情症——ICD-11 と DSM-5 の相違点——……………針間 博彦 647 カタトニア……………針間 博彦 649 Schneider の一級症状の位置づけ——ICD-11 と DSM-5 の相違点——……………針間 博彦 651	
地方会報告	第75回東北精神神経学会……………653 第40回信州精神神経学会……………663	
PCN だより	PCN Volume 76, Issue 4 の紹介……………668	
書 評	……………671	
学会活動報告	学会活動日誌 (2022 年 7 月)……………672	
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト……………676	

第124巻 第10号 2022年10月

巻頭言	精神科医の生涯教育について考える……………上野 修一	679
精神医学の フロンティア	陽極経頭蓋直流電気刺激 (tDCS) による暗示的運動学習と 言語関連脳機能への効果：機能的 MRI 研究 ……………中島 創一郎, 肥田 道彦, 池田 裕美子, 濱 智子, 船山 拓也, 秋山 友美, 荒川 亮介, 館野 周, 鈴木 秀典, 大久保 善朗	681
総説	エネルギー器官としての脳——組織構造と統合失調症—— ……………糸川 昌成, 大島 健一, 鳥海 和也, 吉川 茜, 堀内 泰江, 宮下 光弘, 宮野 康寛, 石田 裕昭, 小堀 晶子, 井上 智子, 新井 誠, 鳥居 洋太, 久島 周, 入谷 修司, 尾崎 紀夫, 鈴木 芳生, 野口 千太, 雑賀 里乃, 水谷 隆太	688
資料	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行拡大が依存症に関する 全国の精神保健福祉センターの支援体制, 民間支援団体, およびその相談者に与えた影響 ……………片山 宗紀, 杉浦 寛奈, 藤城 聡, 小原 圭司, 本田 洋子, 天野 託, 小泉 典章, 田辺 等, 白川 教人	700
特集	作業療法・精神科リハビリテーションの現在 統合失調症のリハビリテーション・作業療法——「結論への飛躍」に注目して—— ……………林 良太, 稲富 宏之, 石井 良平, 黒田 健治 地域在住認知症高齢者の手段的日常生活活動に対するリハビリテーション……………田平 隆行 作業を基盤とした, 地域に溶け込んだ介護予防……………横井 賀津志	710 717 725
連載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達疾患」分類と病名の解説シリーズ ICD-11における神経発達症群の診断について……………小川 しおり, 岡田 俊 ——知的発達症, 発達性発話又は言語症群, 発達性学習症など——……………神尾 陽子 ICD-11 では重篤気分調節症 (DMDD) の診断はなぜ採用されなかったのか……………	732 740
地方会報告	第73回東北精神神経学会……………	742
PCN だより	PCN Volume 76, Issue 5 の紹介……………	750
書評	……………	755
学会活動報告	学会活動日誌 (2022年8月)……………	756
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト……………	758

第124巻 第11号 2022年11月

巻頭言	精神科アドボケートと訪問相談員 (仮)……………太田 順一郎	761
討論	覚醒剤関連精神疾患の長期経過について——安易なハームリダクションへの警鐘—— ……………小田 晶彦, 小泉 輝樹, 宮腰 恵	763
特集	本人のもつセルフスティグマに気づき, 支えよう ——統合失調症, 認知症, そして, てんかん, ギャンブル依存症—— 統合失調症とセルフスティグマ……………小口 芳世 認知症とセルフスティグマをめぐって……………笠貫 浩史 てんかん患者のセルフスティグマの実態とその低減に向けて……………倉持 泉, 岩山 孝幸, 下津 咲絵, 堀川 直史, 渡辺 雅子 ……………入来 晃久 ギャンブル障害当事者のセルフスティグマ……………	771 778 786 794
会長講演	第117回日本精神神経学会学術総会 精神科医として40年……………木下 利彦	801
連載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達疾患」分類と病名の解説シリーズ 神経認知障害群——認知症医療は誰が担当するのか——……………池田 学 PMDD in ICD-11……………山田 和男	809 815

地方会報告	東京精神医学会第 124 回学術集会	817
PCN だより	PCN Volume 76, Issue 6 の紹介	824
書 評		829
学会活動報告	学会活動日誌 (2022 年 9 月)	830
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト	834

第 124 巻 第 12 号 2022 年 12 月

巻 頭 言	日本精神神経学会における当事者参加の動向	尾崎 紀夫	837
資 料	大災害後のコミュニティ支援に何が必要なのか —— みやぎ心のケアセンターの活動分析からみえること —— …………… 福地 成, 千葉 柊作, 片柳 光昭, 小原 聡子, 白澤 英勝		839
特 集	摂食障害の連携指針と簡易治療プログラムの研究開発 摂食障害の治療支援ネットワークの指針と簡易治療プログラムの開発の背景と概要 …… 安藤 哲也 『精神科領域における摂食障害の連携指針』の作成 …………… 山内 常生, 原田 朋子, 宮本 沙緒里, 井上 幸紀 『神経性やせ症 (AN) 初期診療の手引き』の開発と概要 …………… 高倉 修 過食症に対するオンラインガイドセルフヘルプ認知行動療法の開発 …………… 大迫 鑑顕, 木村 大, 中里 道子		849 855 863 868
連 載	ICD-11「精神, 行動, 神経発達疾患」分類と病名の解説シリーズ 物質使用症又は嗜癖行動症群 …………… 樋口 進 睡眠・覚醒障害医療における精神科医の役割 …………… 内山 真 ICD の双極症混合エピソード——混合状態の医学史—— …………… 大前 晋		877 885 887
学会誌への 手紙	対面形式の国際学会への帰還: RANZCP2022 大会代表派遣を通して感じたもの —— 国際学会代表派遣事業レポート —— …………… 曾根 大地		892
地方会報告	第 141 回北海道精神神経学会		894
PCN だより	PCN Volume 76, Issue 7 の紹介		897
書 評			902
学会活動報告	学会活動日誌 (2022 年 10 月)		903
編集だより	編集後記, 次号予告, 書評献本リスト, 編集委員会より		906